



第1章

新「山鹿市」の概要

本市は、平成17年1月15日に山鹿市、鹿北町、菊鹿町、鹿本町及び鹿央町の1市4町が合併し、新たな「山鹿市」として誕生しました。

1. 位置と地勢

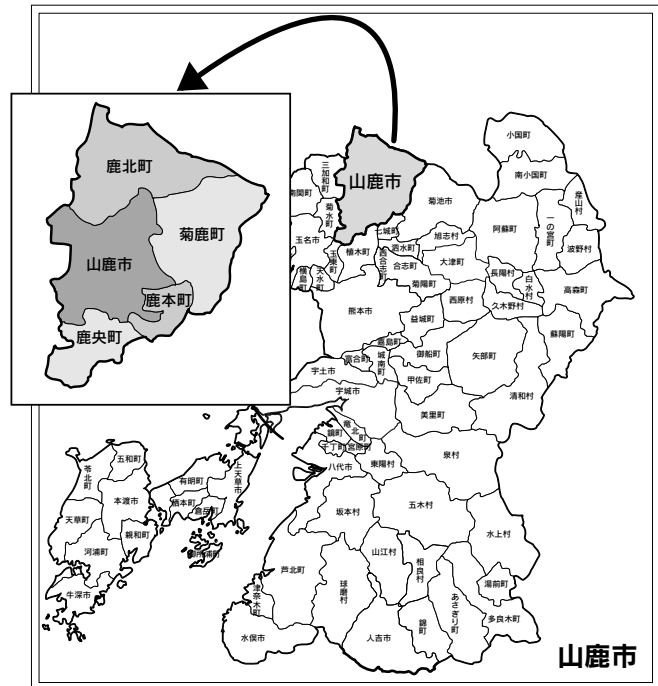
菊池川流域に広がる豊かな田園地帯を持つ本市は、熊本県の北部に位置し、北は福岡県・大分県、東は菊池市や七城町、南は植木町や玉東町、西は三加和町や菊水町にそれぞれ境を接しています。

本市の北部は緑豊かな山林に覆われ、ここに源をなす岩野川、上内田川などの河川が菊池川に注ぎ、本市中央部を東から西へ貫流しています。

本市の南部は菊池川流域を中心とした平坦地で、田園地帯が広がり、その中心部に市街地をなし、幹線道路網が放射線状に発達しています。本市を縦断する国道3号と東西に延びる国道325号、443号などの結節点となる山鹿市街地は、地域交通のアクセス拠点となっています。

気候は温暖であり、肥沃な土地に恵まれた豊かな自然と、歴史・伝統に育まれた文化の薫り高い地域です。

本市の総面積は、299.67 k m²（東西21.5km、南北26.7km）で、県全体の4.0%を占めています。土地利用の状況は、農用地の割合が県全体の構成比より高く、市北部では森林の割合が高くなっています。



(平成17年1月15日現在)

市町別土地面積:平成13年

(単位: ha)

土地種類 市町村名	田	畑	宅地	山林	その他	合計
山鹿市	1,730	727	676	3,472	2,097	8,702
鹿北町	425	799	125	5,847	1,421	8,617
菊鹿町	785	762	204	4,853	1,134	7,738
鹿本町	899	143	229	0	492	1,763
鹿央町	644	436	186	1,309	572	3,147
新「山鹿市」	4,483	2,867	1,420	15,481	5,716	29,967
構成費(%)	15.0	9.6	4.7	51.7	19.0	100

資料: (「熊本県統計年鑑」)

2. 人口

本市の人口は、平成12年の国勢調査によると59,491人となっており、昭和60年以降微減状況にあり、将来人口も減少傾向が続くと予測されます。

また、年齢階層別人口をみると、少子高齢化の傾向はさらに強くなり、地域産業を支える生産年齢人口にかかる扶養負担の割合が高くなることが予測されます。

○人口の推移及び将来人口の推計

(単位：人)

市町名	実績値				推計値			
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
山鹿市	33,647	33,441	33,559	32,944	32,242	31,386	30,359	29,130
鹿北町	6,160	5,891	5,465	5,290	5,087	4,850	4,581	4,291
菊鹿町	8,287	8,002	7,688	7,524	7,301	7,036	6,763	6,492
鹿本町	9,145	8,975	8,714	8,522	8,333	8,137	7,894	7,569
鹿央町	5,995	5,841	5,565	5,211	4,852	4,490	4,135	3,768
新「山鹿市」	63,234	62,150	60,991	59,491	57,815	55,899	53,732	51,250

※人口推計はコーホート要因法による。

※社会的移動率（転入・転出等）は平成7年から平成12年の値で変化せず、今後も継続すると仮定。

○年齢階層別人口の推計

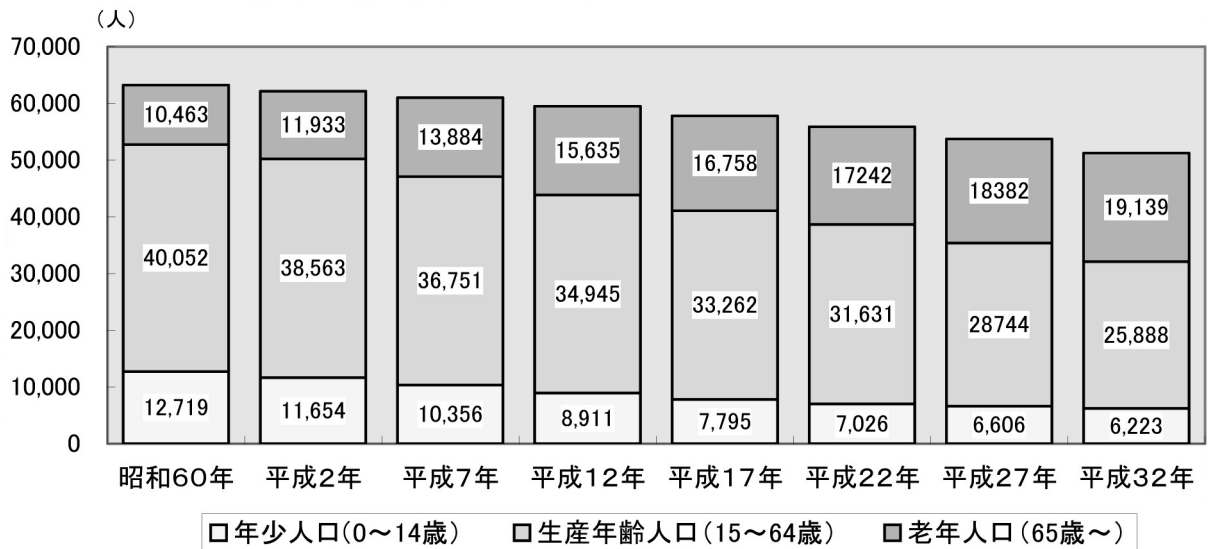
(単位：人)

	実績値				推計値			
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
総人口	63,234	62,150	60,991	59,491	57,815	55,899	53,732	51,250
年少人口 (0～14歳)	12,719 20.1%	11,654 18.8%	10,356 17.0%	8,911 15.0%	7,795 13.5%	7,026 12.6%	6,606 12.3%	6,223 12.1%
生産年齢人口 (15～64歳)	40,052 63.3%	38,563 62.0%	36,751 60.3%	34,945 58.7%	33,262 57.5%	31,631 56.6%	28,744 53.5%	25,888 50.5%
老年人口 (65歳～)	10,463 16.6%	11,933 19.2%	13,884 22.7%	15,635 26.3%	16,758 29.0%	17,242 30.8%	18,382 34.2%	19,139 37.4%

※人口推計はコーホート要因法による。

※社会的移動率（転入・転出等）は平成7年から平成12年の値で変化せず、今後も継続すると仮定。

○人口の推移及び将来人口の推計



3. 世帯数

本市の世帯数は、平成12年の国勢調査によると18,963世帯となっており、昭和60年以降微増を続け、将来も継続して増え続けると予測されます。

人口の減少傾向が続くものの、世帯数は増加が予測され、その要因としては、世帯の核家族化が進行するためと考えられます。

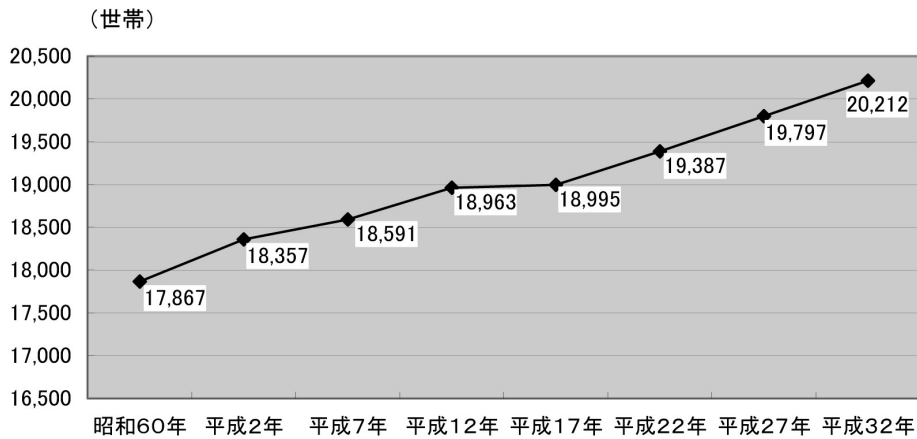
○世帯数の推移及び将来世帯数の推計

(単位: 世帯)

項目	実績値				推計値			
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
新「山鹿市」	17,867	18,357	18,591	18,963	18,995	19,387	19,797	20,212
山鹿市	10,198	10,731	11,000	11,291	11,098	11,412	11,732	12,050
鹿北町	1,535	1,512	1,462	1,465	1,469	1,507	1,558	1,632
菊鹿町	2,063	2,059	2,051	2,084	2,202	2,244	2,299	2,373
鹿本町	2,557	2,563	2,595	2,651	2,741	2,775	2,792	2,776
鹿央町	1,514	1,492	1,483	1,472	1,485	1,449	1,416	1,381

※世帯数推計のもととなる人口推計はコーホート要因法による。
 ※社会的移動率(転入・転出等)は平成7年から平成12年の値で変化せず、今後も継続すると仮定。

○世帯数の推移及び将来世帯数の推計



4. 産業別就業人口

平成12年国勢調査による地域全体の産業別就業人口をみると、第1次産業人口は21.3%と県平均の12.1%よりも9.2%ポイントも高くなっており、第2次産業人口は26.8%と県平均の24.6%より2.2ポイント高くなっています。第3次産業人口は51.8%で県平均の62.6%よりも10.8%ポイント低くなっています。

○産業別就業人口

(単位：人・%)

	就業人口総数	第1次産業人口		第2次産業人口		第3次産業人口		分類不能	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
熊本県	886,887	107,480	12.1	218,013	24.6	554,938	62.6	6,456	0.7
山鹿市	15,851	2,154	13.6	4,147	26.2	9,517	60.0	33	0.2
鹿北町	2,906	1,009	34.7	850	29.3	1,046	36.0	1	0.0
菊鹿町	4,000	1,249	31.2	1,199	30.0	1,552	38.8	0	0.0
鹿本町	4,259	916	21.5	1,131	26.6	2,210	51.9	2	0.0
鹿央町	2,672	989	37.0	635	23.8	1,048	39.2	0	0.0
新「山鹿市」	29,688	6,317	21.3	7,962	26.8	15,373	51.8	36	0.1

資料：平成12年国勢調査

○産業別就業人口構成比

